



9784536101080



192437000004

月 日 印刷
月 日 発行
3月10日 検定済

出版社が認可し官報で告示した定価
※、各巻別巻取次紙巻取りに表示します。)

著
東京造形大学教員
岡山大学大学院教授
岡山大学大学院教授
埼玉大学教員
埼玉大学教員
PUO・福太平洋大学教員

東京新原村山立山家村山第二中学校教員
神奈川県川崎市立玉川中学校教員
お茶の水女子大学附属高等学校教員
山梨県北杜市立明野中学校教員

福島大学教員
京都造形芸術大学教員
岐阜大学教員
京都大学大学院教員
（国文学部教員）
群馬大学教員
群馬大学教員
東京都立芸術大学教員
岐阜大学教員
岡山大学教員
山梨県立大学 教育学部
東京学芸大学附属竹中中学校教員
原株式会社

大阪教育大学名誉教授
岡山大学教員
鹿児島大学名誉教授
熊本大学名誉教授
九州産業大学教員
（山梨大学名誉教授）
新潟大学教員
新潟大学名誉教授
和歌山大学名誉教授
奈良県教育大学教員
元兵庫県神戸市立西宮小学校教員
岡山大学名誉教授
岡山大学名誉教授
（京都府立芸術大学教員）
九州大学教員
大阪芸術大学名誉教授
神戸教育大学教員
公益財団法人るるる市文化振興事業団専務理事



◆校閲者

特別支援教育・
カラーユニバーサルデザインに関する校閲
カノウ 進（国立特別支援教育総合研究所研究員）
防災・安全教育に関する校閲
片田敏孝（群馬大学大学院教授）
河田善雄（関西大学教員）
小・中学校連携に関する校閲
水島尚貴（聖心女子大学教員）
西尾正實（聖米女学教員）
永井和貴（東京都立特別立小一貫校教育長
浜松市立新築小中学校教員）

◆発行者

日本文教出版株式会社
大阪市住吉区住吉 4-7-5
代表者 佐々木真樹

◆印刷者

西口印刷株式会社
大阪市住吉区住吉 1-3-9
代表者 西口洋輔

◆製版者

株式会社 あいびんす
大阪市東区東中野 2-6-18
代表者 大西雄平

◆表紙・本文デザイン

株式会社志統デザイン事務所

◎巻頭

アーケ・ノヴァ

【空気環境構造バルーン】18×30×36m】

2013 宮城県長島市（建設時：表紙、上）
2014 宮城県仙台市でのコンサート風景（下）
編纂者【大分県・1931-】、
アーニッシュ・カプア【インド-イギリス・1954-】

アーケ・ノヴァの設計計画は、東日本震災の直後、スイスの建築家兼デザイナー、フェスティバルの呼びかけで開始した。ARK（アーケ）は「方角」、NOVA（ノヴァ）は「新しい」を意味する。約500名収容の可動式のコンサート・ホールで、内部は一つの連続した空間となっており、舞台や音響に必要な装置が配置される。膜は折りたたみ、各巻頭は分解してトラックに収納し、各地を巡回できるように考えられている。

◆資料提供・協力

賛成会、あいちトリエンナーレ実行委員会事務局、アカシヤ・エディション、朝日新聞社、アジヤンス・デ・ミュゼ・フランセ、飛鳥屋、アフロ、アマテラス・アルストム、エドモンシェ・デ・コスタリカ、NPO アークプロジェクト、大森建築事務所、大塚建設株式会社、春日部統一子、堀田、橋田幸雄、ギョウリウ小坂、水鏡堂、吉内洋太郎事務所、グググ・イン・マジック・ジャパン、KEN OKUYAMA DESIGN、工芸家スタジオ、神戸市立芸術創造センター、国立新美術館、コトバキ、JTBフォト、楽社社、四国こどもとおとなの芸術センター、新築通信フォト、シード、シュワマン、新建築社写真部、西都綜合病院、瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局、奈良よしお京都店、都知の島高貴文化財団、学芸文芸フェスティバル、東京エレクトロニクス・システムズ、東大寺、十日市芸術創造センター交流館、心図印刷、富山県市役所、ドラフト、中田龍、野口英一、坂 淳彦建設設計、ビクタ、PPS 通達社、平和野球場、フォルム高島、フチグワパブリッシング、塚野隆、マクアフト、三井和興、朝日新聞、ゆかい、ユカリアート、ユニフォプレス、Lucerne Festival ARK NOVA、鶴島正樹

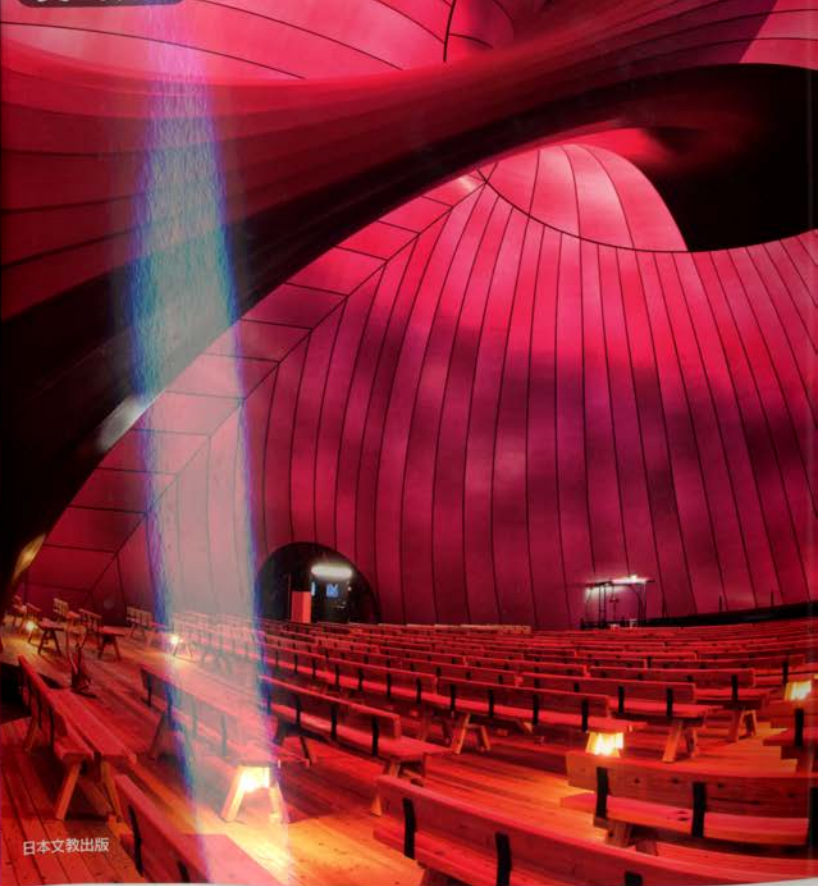
表紙・裏表紙上：Lucerne Festival ARK NOVA 2013
P.9 村上隆 © Marlene Dumas, Courtesy of Gallery Koyama
P.11 セルポートレート Collection Museum of Contemporary Art Chicago, Gift of Joseph and Jory Shapiro, 1992.66
Photo:Nathan Key, © Museum of Contemporary Art Chicago
P.17 野村 100 年アート
竹野雅樹, 山本 SOHO プロジェクト,
芝川一, Courtesy of the artists and YUKARI ART
P.19 99cent © Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / Philippe Moreau/Distribution by A3P
P.31 純人、だ子と、1「ゲルニカのための管音」
Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia
Photographic Archives Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia
P.42 桂樹堂 全珠 展（南）工芸家スタジオ・前掲発売
P.46 コンチネン多層複設住宅プロジェクト（右） Shigeru Ban Architects



自分のマーク

美術 2・3 下

美の探求



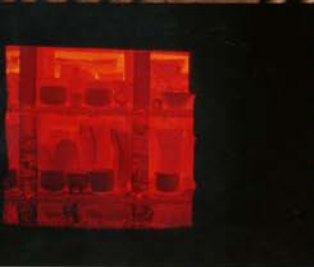
編	者	名
編	者	名

出版株式会社 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16 電話 (03)3389-4611
nichibun-sha.co.jp 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5 電話 (06)6692-1261

は、これからの日本を担う若さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

※本書に掲載の解説書、資料写真・ワークブックは
よからなる環境を大切にする活動に活用できます。
※この資料は複製禁止と再配布を禁じています。

「備前（現在の岡山県）の土は、火に弱い土です。だから長時間焼かなくては、土の持つ特徴を豊かに生かすのが困難です。私は多くるをゆっくりと回しながら、自分のアイデアを加えていきます。伝統の中に、新しい技法と形を見つめる。それが伝統を引きつぐということなのです。」



美術2・3下 [目次]

美の探求



私との対話
● 8～11



共同制作の魅力
● 22・23



光と影の空間演出 ● 34・35



魅力が伝わるパッケージ ● 32・33



生活を彩る染めの味わい ● 38・39

マークについて

使用されているマークの意味や内容を知り、学習に生かしましょう。

学びのねらい

- 題材ごとに「学びのねらい」を示しています。美術の授業を通して、多くのことを学んでいきましょう。
- 関心・意欲・態度に関するねらい
- 発想や構想に関するねらい
- 創造的な技能に関するねらい
- 鑑賞に関するねらい

● 学習内容のポイントを題材ごとに示しています。

- 注意しよ1: 作品をつくる上での安全に関する注意点を示しています。
- 注意しよ2: 学習に関連する内容が掲載されているページを示しています。
- 注意しよ3: 道徳の学習に関連する内容を示しています。

● 注意しよ4: 美術作品や写真などの創作物には、不正な複製などを禁じ、作者の権利を守る著作権が定められています。作品の盗撮などを利用する際は注意が必要です。

オリエンテーション

- 美を探し求めて 2～4
- 夢をかたちにするデザイン 6～7
- あなたへ～中学校美術からの巣立ち～ 56・57

絵や彫刻など

- 私との対話 8～11
- 空想の世界への誘い 12・13
- 一瞬の光をとらえて 14・15
- 問題意識を形に 16・17
- ▲ ここでシャッターを切った理由 18・19
- イメージを形で表現しよう 20・21
- 共同制作の魅力 22・23
- ▲ 折り紙で表現された折り 24～29
- ▲ 「ゲルニカ」は語る 30・31

デザインや工芸など

- 魅力が伝わるパッケージ 32・33
- 光と影の空間演出 34・35
- 自分たちの生活の場を飾ろう 36・37
- 生活を彩る染めの味わい 38・39
- 暮らしを心地よくするインテリア 40・41
- ▲ 自然を愛する空間 42・43
- デザインと環境 44・45
- ▲ デザインで変える現在と未来 46・47

学習に役立つ資料

- 日本の世界文化遺産 48・49
- 受けつぎつくる人の姿 48・49
- アートを体験する場に出かけよう 50～52
- 写真撮影の第一歩 53
- コンピュータ・グラフィックスの表現 53
- アニメーションの表現 53
- 石を彫る 54
- 織る 54
- 仏像の種類 55
- 近代の建築 55

- 一表現する活動を主とした内容
- ▲ 一鑑賞する活動を主とした内容
- =オリエンテーションと学習に役立つ資料



P2～3掲載:
■ 壺
[高さ/高さ 37×径 34.5cm]
2001
伊勢崎洋[岡山県・1936～]
撮影・平村紹夫

夢をかたちにする デザイン

私たちの回りにあるものは、
すべてデザインされつくられています。

そして、これらのものは使い勝手や見た目の美しさだけでなく、
未来に向けた新しい提案だったり、地域の産業や人と結びついて
豊かな暮らしをつくりたりして、私たちの社会に
活力や夢、希望を与えてくれます。
奥山清行の独創的なデザインを通して、
その工夫や発想の仕方などを考えましょう。

未来の車のためのスケッチ
1990年代に「未来の車を考えて
ほしい」と頼まれて描いたスケッ
チ。奥山のアイデアは、いつもス
ケッチを描くことから始まる。



「アイデアをビジュアル化する。
それが車であっても、目の前にない物事を
形にできることがいま必要とされている。」

伝統の技とともに

デザイナーは、イメージしたリングの形をもと
に一枚の銅板を打ち延ばし、細める銅金だから
できるデザインを探し求めていた。このアプ
ドから、新潟県燕市で江戸時代より続く鋳銅
器の職人が、銅をたたきながら細め、岩肌のよ
うな独特な質感をつくり出した。

鋳銅器のティーポット
【銅・鍍・木】
17×13.8×10.5cm



鋳銅器のティーポット
のスケッチ

「使用目的、
製造方法、
そして素材が
デザインを
決める。」

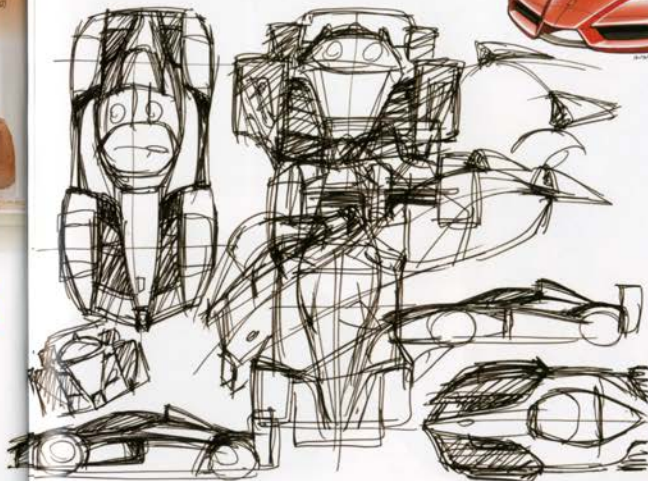
● 理想の実現を目指し、人生を切り回している。

工業デザイナー 奥山清行
1958年、山形県に生まれる。
東京中央美術学校で身につけた
デザインを軸に、新しいモノを
提案するなど、より豊かな社会
づくりに貢献している。時代と
ともに変化する社会のニーズを敏
感にとらえる感性や発想が大切
なことを教えてくれる。



コートハンガーの制作で、職人と打ち合わせ
を重ねる奥山。木材をらせん状に加工することは
難しいが、職人の伝統技術が可能にした。

「絵を描いている時は
頭に完成形はなく、描きながら
新しいものが生まれてくる。」



フェラーリ エンツォの
スケッチ

フェラーリ エンツォのための
アイデアスケッチ
コンピュータでスケッチを描くデ
ザイナーが考えている中、奥山は
手で描くことの大切さを強く感じ
てきた。手で描くと、頭のイメ
ージとは違う線が引けることがあり、
その線から新たなイメージが膨ら
んでくるという。

未来を見つめて

2004年、人の生活にゆとりをもたらすこと
を目的に、携帯電話などで操作できる家庭用
の二足歩行ロボットをデザインする。配線が
むき出しになっていたり、冷たい金属の板で
できていたりしたロボットが多かったが、人
との快適な生活ができるように、安全性を重
視したデザインを目指し実現した。

二足歩行のロボット
【プラスチック・身辺材料】
90×35.3×12.2cm
2004



二足歩行ロボットのためのスケッチ

「100年後でも、
よりよい生活を
創造しようと
試行錯誤を楽しんで
いることでしょう。」



私との対話

表すことで見えてくる自分自身

- 字びのねらい
- さまざまな表現方法を工夫して自分を表すことに、意欲を持って取り組もう。
- ①自分の姿を見つめて考えたことをもとに、今の自分の気持ちや将来の夢を表すなど、表現の構想を練ろう。
- ②絵や立体など表現方法を工夫して、今の自分を表そう。
- ③作品に託した思いや意図、表現の工夫について話し合おう。



自画像
【油彩・キャンバス／34×25cm】192
スイスインスティテュート
フォーアートリサーチ（スイス）
アルベルト・ジャコメッティ
【スイス・1901～66】
20歳の時に書いた作品。塗り向いた時のまなざしに親さが感じられる。



生徒作品 自画像
【彫刻・加工粘土／15×20×14cm】
人間の持ついろいろな表情を数枚の顔で表現している。



画人像
【鉛筆・紙／35.5×25.2cm】
1996
松田正平
【最終年・1913～2004】
顔や目じりのしわ、陰影のタッチなどが、ほじけるような笑顔を表している。

悪は凡庸
【油彩・キャンバス／125×105cm】1984
フアン・アホベ立美術展
【オランダ】
マルレーネ・デュマス
【南アフリカ・1953～】
鮮やかなオレンジ色の髪や何かを見つめる瞳に特徴がある。



生徒作品 アイテテテテテテテテ
【鉛筆・紙／53.7×37.8cm】

絵を描く間、じっと自分の顔を見つめる。何時間も。こんなに長い間見続ける経験はほかにあるでしょうか。好きな自分、気に入らない自分、人はいろいろな面を持っています。

しかし、自分はこちらにいます。今の自分を励ます手紙を書くような気持ちで、自分の顔を描いたり、つくったりしましょう。あなたの知らなかった自分が見つかるかもしれません。すてきなあなたを探してみましょう。

ピカソの自画像の変遷

左から、14歳のころ、20歳、26歳、91歳の時に描かれた自画像です。年齢を重ねるにつれ、変わっていく表現に着目しましょう。



自画像
【油彩・キャンバス／32.7×23.6cm】
1896 ピカソ美術展【スペイン】
10代このころから力点を凝らしていたことが表れた作品。



マントを纏った自画像
【油彩・キャンバス／81×60cm】
1901 ピカソ美術展【フランス】
親友の死がきっかけとなり、画面に冷たさが表れた「青の時代」の作品。



自画像
【油彩・キャンバス／58×46cm】
1907 フラハ国立美術館【チェコ】
写実性から離れ、顔と髪で描かれた作品。



自画像 【ワックスクレヨン・紙／65.7×50.5cm】1972
目や鼻などを単純化、強調して幾何学的な作品。

ハブロ・ピカソ
【スペイン・1881～1973】



鏡を見てアングルや表情を決め、特徴をとらえながら描く。



立体感を工夫しながら黄色を塗る。

ポイント

ピカソについてはP.30～31「『ゲルニカ』は語る」も見てみよう。

POINT

自分の顔をじっくり見つけ、顔の角度や表情、色彩などを工夫しながら描いたり、つくったりしよう。



生徒作品
変えたい【アクリル・キャンバス／33×24cm】
作中の言葉 私は、人付き合いが得意ではありません。毎日毎日、そんな自分の意味を考えます。どうすれば、みんなと仲よく楽しい生活が送れるのか。それは自分が変わるしかないのです。しかし、自分を変えることはとても難しいことで、思い描く自分にはまだ程遠いです。

生徒作品
難題に慣れた自分
【鉛筆・水彩・紙／54.6×39.3cm】

作中の言葉 私たちは中学校入学直前に大変な道に達しました。大変な生活からようやくここまでたどり着いた。そんな3年間でした。これからも困難を乗り越える自分の道路。そして人生を歩んでいく…。じっくり自分と向き合いながらそんな強い気持ちがありました。それを表す色は何かと考え、オレンジと緑の強いコントラストが良いと思いました。



想像力を働かせて

鏡に映った自分の顔を観察して描いたものが自画像ではありません。現在、打ち込んでいるものや将来の姿などを組み入れて表すなどの工夫をしながら、今の自分を表現しましょう。



夢空のある自画像 [油彩・キャンバス/194.3×259.5cm] 1977
 群馬県立近代美術館蔵 藤谷孝二 [奈良原・1943-]
 20代で初めてイタリアに旅行した作家は、書く途に空に新鮮な驚きを覚えた。作品の意匠にその時の感動が込められている。球形の顔部分は、広島の原爆ドームをイメージしている。

POINT

自分の心を象徴するものや風景などを考えて表現しましょう。



生徒作品
心の自画像
 [アクリル・ペン・紙/42×29.8cm]

強いまなざし、何かをつかもうとする手の表現から、未来の夢に向かっていくような作者の気持が感じられる。



生徒作品
人生のピース
 [スパッタリング・アクリル・紙/38×27cm]
作者の言葉 自分の今とこれらを形づくっていくものを描きました。



生徒作品
自画像 [水彩・紙/54×39cm]
作者の言葉 天に向かって伸びる樹木や、空を見上げている作者の姿勢が、前向きな姿勢を象徴しているからである。



生徒作品
私をつくっているもの [水彩・紙/53.6×38.8cm]
作者の言葉 これまでの15年間で、私はたくさんを経験をしました。それをさまざまな『モノ』をモチーフにして描いたら面白いと思いました。15年間のまとめにしたいと思い精一杯描きました。

さまざまな表現を通して

自分の顔をそっくりに描くだけではなく、姿の輪郭線や影、普段使っているものなどに置き換えて表すことも可能です。さまざまな材料や技法を組み合わせるなど、個性豊かに自分を表現しましょう。



POINT

自分のシルエットや、日々愛用しているものにも着目しましょう。

生徒作品

キュビズムによる自画像

[コラージュ・アクリル・段ボール・紙/36.5×24.5cm]

作者の言葉 顔を自立たせる工夫として、背景にむらを出しました。中央の怒っている顔は目をつり上げ、左の悲しい顔は下がり目にすることで、目で感情を表現しました。

POINT

自分のシルエットや、日々愛用しているものにも着目しましょう。

生徒作品

秋の調べ [コラージュ・テープリング・ドリップペイント・水彩・紙/38×53.8cm]
 シルエットと季節感を意識させたい表現仕上げています。



セルフポートレート [ミクスメディア/110.3×192.1×114.9cm] 1961〜62 シカゴ美術館蔵 [アメリカ]
エス・カル・マリソル [ベネズエラ・1930-]
 左から右へ、赤い「顔」が「目」で、胴体の部分ははたてさまざまな材料を使っている。いろいろな自分の姿を表現し、自分の本当の姿を見つけようとしているように感じられる。



生徒作品

私の制服

[加工粘土・アクリル・木/46×30.3×3cm]
 日常的に愛用しているものをきれいに磨んだ形にし、自分に置き換えて表現している。

空想の世界への 誘い

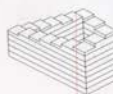
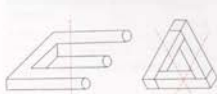
時空を超えた世界を旅する



建 [リトグラフ・紙/36×30cm] 1901 M.C.エッシャー [オランダ・1898～1972]
建物の本質をたどっていくと、不思議なできごとが起こる。

人は、空想の世界に胸をときめかせ、その世界を表現しようとするさまざまな方法を試み、不思議な世界をつくり上げてきました。異次元空間やSF(サイエンス・フィクション)の世界など、空想する力は芸術だけではなく、科学の分野にも大きな影響を与えることができる人間の大切な能力です。

空想する力を働かせて不思議な世界を考え、絵や立体に表しましょう。そして、自分の作品に込めた思いを話し合しましょう。



不思議な見え方をする
図形の内なる
思い通りに沿って片方を
隠すと自然な形になる。

学びのねらい

- 👉 空想の世界をイメージすることに関心を持つ。
- 👉 自分の体験、見る、読むなどの経験から創らされた新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。
- 👉 自分の思いや空想の世界を表現するためにふさわしい方法を考え、工夫しよう。
- 👉 作品に表された作者の意図や工夫を感じ取り、話し合おう。



生徒作品

自分を探して
[スリッパリング・
アクリル・紙/
24×24cm]

作者の言葉

似ているのに違う自分を
二人いたことを表して
みました。場面は、「静
かで落ち着いた場所」と
いうことで海感にして、
海の色をやや濃い青に
することで光や生物が
際立つようになりました。



白紙委任状 [ブワッシュ・紙/39.9×47.6cm] 1966 宮崎県立美術館蔵
ルネ・マガリット [ベルギー・1898～1967]

馬の姿が透切れた。背景であるはずの木が前面に出ていたり、見る人を不思議な気分にする。



生徒作品

壊された壁の向こうには
[鉛筆・アクリル・紙/51.5×36.1cm]



生徒作品

君の背中に乗って
[加工粘土・アクリル・紙・木箱/22×27×27cm]

POINT

体験したことや夢などをもとに、視覚の不思議を生かしたり、ものの大きさや質を変化させたりしながら、空想の世界に思いを込めて表現しましょう。



宇宙象

[ブルンズ/277×58×146cm] 1990

サルゲデーニール・ダウ [スペイン・1904～99]
空に向かって上昇し、宇宙の膨張力技術によって脚を引き伸ばされてゆく象は、異次元の世界に送り出す科学技術の進歩を象徴するオベリスク(古代エジプトの太陽神のシンボルの一つ)を寓言している。

一瞬の光をとらえて

刻々と変化する風景をとらえる

- 学びのねらい
- 天候や季節、時刻によって光の表情が変わることに関心を持つ。
 - 自然の光の美しさや変化などから感じ取ったことをもとに発想を広げ、表現方法の選択、色彩や構図などの構想を練る。
 - ◎ 色彩や明暗、影などの特徴をとらえ、材料や用具の使い方を工夫して、光の美しさを表そう。
 - ◎ 自然の光をとらえた作品のよさや美しさ、表現の工夫を感じ取る。

雲の切れ間から差す陽光、雪が舞い散る瞬間のきらめき。私たちが暮らす空間は、天候や季節、時刻などによって変わるさまざまな光に彩られ、その時、その瞬間でしか見ることのできない美しさがあります。

自然の表情から感じ取った美しさや激しさやぬくもりに、あなたの思いを重ね合わせてみましょう。そして自分の創意を大切に、表現方法を工夫しましょう。



太陽【油彩・キャンバス/452×788cm】1911～16 オスロ大学講堂展【ノルウェー】エドヴァルト・ムンク【ノルウェー、1863～1944】
白色の太陽から、色の線で表された太陽光が放射状に広がり、海や岩が豊かな色で描かれている。自然の美しさや生命力が感じられる。



年暮る
【絵筆・彩色・紙/73×100cm】1968
山極美術館蔵【東京都】
東山魁夷【神奈川県、1908～99】
暮みを帯びた家や木々、雪からは冬の寒さや静けさを感じる。一方で家からもれる黄色い光からは、生活する人々のぬくもりを感じることができる。四季の表情やそこに結びついた人々の生活をとらえている。



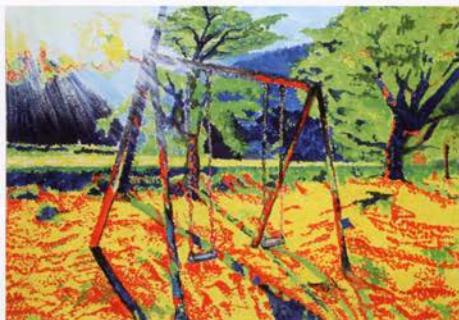
夜明け
【アクリル・紙/39.1×54.2cm】

POINT
光の温かさや光の輝きなど、色づかいを工夫して表現しましょう。



主観作品 ミステリー～水たまりの中の世界～
【写真/サイズ可変】

【作者の言葉】雨が降った後の空です。空をそのまま撮るのではなく、大きな水たまりに映った空を撮りました。空がもっていて、太陽が出てきた感じがはっきりわかる写真になりました。雨もあるので、夏なのに雲が降っているようにも見えます。



主観作品 日ざかりの公園【アクリル・紙/38×54cm】



【主観作品】
【鉛筆・水彩・紙/37.7×53.7cm】
扉下の窓から差し込む光の様子を、壁に映された影で表現した作品である。

【参照】光を表現した作品の鑑賞については2・3上P.20～21「光が生リアルとドラマ」も見てみよう。

モネの連作

モネは時間や季節によって刻々と変わる光と大気をとらえるため、同じモチーフによる連作という方法をとりました。一瞬たりとも同じ表情を見せない風景を、色彩を変えて表現しています。



ルーアン大聖堂、夜明けの正面口とアルバン塔
【油彩・キャンバス/106×74cm】1893
ボストン美術館蔵【アメリカ】
クロード・モネ【フランス、1840～1926】



ルーアン大聖堂、太陽の効果
【油彩・キャンバス/100×65cm】1893
ボストン美術館蔵



ルーアン大聖堂、夕暮れ
【油彩・キャンバス/100×65cm】1894
ブーシオン美術館蔵【ロシア】

問題意識を形に

美術を通して社会の問題をとらえよう

美術には、言語を超えたところで多くの人に感じたこと、考えていることなどを訴える力があります。これまで学んできたことや、興味を持って読んだ本などから、環境、福

学びのねらい

- ① 現代の社会が抱える問題をとらえて表現した美術作品に、関心を持たう。
- ② 環境や平和、災害復興などの問題をとらえて表現したい内容を発想し、美術作品として美しく表すための構想を練ろう。
- ③ 表現意図に合った材料や方法を選択し、工夫して表そう。
- ④ 表現された作者の意図を読み取り、工夫について話し合おう。

祉、人権など、私たちを取り巻く社会的な課題を取材しましょう。そこに立ち現れる問題意識をもとに主題を生み出し、材料や方法を選択し、工夫して表しましょう。



POINT

作者が感じた社会問題がどのように表現されているか作品をよく見てみましょう。



作者の意図 絶滅の危機に置かれている動物たちがテーマです。「美しい自然の中で受けつがれるべき生命を後世に残したい」という強い思いを表現したくて描きました。

生徒作品 100年後もあなたに会いたい
[アクリル・紙/35×53cm]



生徒作品
自然を守るのは人の手
[木工粘土・アクリル・ペットボトル・厚紙材料/15×20×9.5cm]



生徒作品 戦争を無くす鳥の国(アクリル・紙/37×53.5cm)
作者の意図 戦争で壊れた野原が燃え上がり、その灰が鳥となって、人類に警告を発信する様。鳥の目は希望の象徴。

ポイント

社会の問題を考えるヒントとしてP.30～31「グルニコ」も見てみよう。



生徒作品 未来(油彩・キャンパス/33×24.2cm)
作者の意図 子どもの可能性も込めて描きました。「汚い世界」を変えていくのは、これらを任せられた子どもたちであり、空を飛んでいるのは、まだ何も知らなくて、何も考えないで軽いということを表しています。



本などを参考に取材をし、社会的な課題を見つけよう。



生徒100年プランコ
[ミクストメディア・綿・木/350×450×250cm]2011
大阪府立立上り岡文化芸術創造センター(2012年展示)
徳川テクニク
(徳田英輔[岡山県・1976～]、松本和也[熊本県・1977～])
東日本大震災の津波で流された仙台市青森区の助産師の松の木の本を、プランコに組み上げた作品。



《復活への祈り-3-11》
[油彩・アクリル・キャンパス/162.1×193.9cm]2011
鶴川海海(東京都・1931～)
震災を感動のままに終わらせず、祈り籠め鳥籠を無くことで復活への祈りを表している。

ここでシャッターを切った理由

写真だからできること

学びのねらい

- 作品から受ける印象をもとに、アングルやピントなど撮影の工夫がどのような効果を与えるのかに目を向けよう。
- 作者がどのような意図で、どのようなカメラの特徴を作品に生かしているかに注目して鑑賞しよう。



デジタルカメラなどの普及によって、気に入った瞬間や場面を気軽に撮影できるようになりました。しかし、写真は目の前のシーンのコピーではありません。カメラは瞬間を切り取ったり、構図や焦点、露出などを変化させたりすることで、被写体への感動をさまざまに表せるのです。

写真だからできる表現を見つけ、作者がその場所、その瞬間でシャッターを切った表現の意図について考え、意見を交わしましょう。

「small planet」より 渋谷
[写真/サイズ可変]2006 本城謙幸[東京都・1978~]

作中の印象 昔から、街を眺めるのが好きでした。見ていると、何気ない風景が映画のセットみたいだなと思える瞬間があって、そういう、どこかバーチャルな感覚を表現したいというも思っていたんです。

ポイント

撮影する角度（アングル）、画面への被写体の切り取り方（フレーミング）、明暗（コントラスト）、焦点（フォーカス）の工夫に注目して鑑賞しましょう。



「アラスカ 極北・生命の地図」より

夕暮れの河を渡るカリブー

[写真/サイズ可変]1988 ころ

星野達夫[千葉県・1952~96]

動物の躍動感を表すため、シャッターを高速度で切り、水しぶきの一部までとらえている。明暗の対比を生かして、ドラマチックな印象を強めている。

99cent[写真/197×327cm]1999

ハリ国立近代美術館蔵[フランス]

アンドレアス・グルンホルム[ドイツ・1955~]

作中は興味を持った風景の印象をより強調して表すため、写真にコンピュータで加工をしている。画面全体に焦点を合わせて撮影した複数の画像を合成することで、細かなものの形や色彩が鮮明に見える。商品が整然と並ぶ場所の特徴が強調されている。



イメージを形で表現しよう

抽象彫刻が持つ魅力

学びのねらい

- ① 立体による塊や動きの表現に関心を持つ。
- ② 塊から感じる存在感や、形から感じる動きなどを考え、表現の構想を練る。
- ③ 材料や用具の特性を生かしながら、自分の表現意図に合う方法を工夫して表そう。
- ④ 作者の心情や表現の工夫などを感じ取り、味わおう。

魚心舟

【白大理石／184×322×251cm】2006
東京ミッドタウン(東京都)
安田画廊(北海道・1945～)

「魚心舟」は、ゆるやかな曲線と量感豊かな形に特徴がある。天井から注ぐ自然光のもとで、白大理石の美しい色が浮かび上がる。



彫刻作品には、人や物などを具体的な形で表す表現のほかに、作者がとらえたイメージや形を単純化したり、強調したりしながら、塊や量、動きを表す表現があります。いろいろな形はそぎ落としたり、ぎゅっとつまった塊の感じをつくり、ねじれやバランスを考えたり、自分が本当に表現したいイメージを追求するために形をさまざまに工夫することができます。材料が持つ重さや手触りなどの特徴や、周囲の空間を生かしながら、自分のイメージを豊かに表現しましょう。

生徒作品

家族のやさしさ【石／9×7×6.5cm】

作者の言葉 この形の真ん中にあるのが一人一人の心で、それを家族全体で支え合いながら土台の穴(四角)を超えていく形にしました。

参考

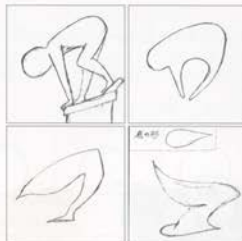
石彫についてはP54「石を彫る」も見てみよう。



空間の鳥【本体ブロンズ／高さ本体135cm、台座高さ170cm、台座中間部25.5cm、台座下部106.7cm】1925～26 画廊東京近代美術館蔵

コンスタンティン・ブツァーグ【スウェーデン・1876～1957】

「空間の鳥」は、鳥の飛行能力を表現しようとした作品で、鳥の顔や足などの要素をそぎ落とし、完璧な真鳥彫刻になった。



生徒作品 アイデアスケッチ【部分】

【鉛筆・紙／29.7×21cm】

水泳のスタートの姿勢を単純化、省略して構想を練った。



生徒作品 【石ころ／78×14.5×7.8cm】

作者の言葉 土台の部分を強調して「地面でふんばっている」という感じを出しました。

POINT

いろいろな角度から見て、表したい形を追求しましょう。



生徒作品 回りの今【木／21×7×8cm】



生徒作品

円陣【銅造・鍍金／4.5×6×6cm】

作者の言葉 試合前に組む円陣の時のチームが一つになっていく気持ちや雰囲気を感じました。土台よりも形の方を光らせることで、選手たちの気持ちの輝きを表現しました。



生徒作品

カラフルメタル

【スチールリング、加工粘土・アクリル／12×6.5×6.3cm】

作者の言葉 紙やすりでツルツルにするのが大変だったけれど、色塗りがいいにできました。

ラージインテリアフォーム

【ブロンズ／高さ902.5cm】

1953～54

シカゴ美術館蔵【アメリカ】

ヘンリー・ムーア

【イギリス・1898～1990】

ムーア作品には一つの特徴として穴がある。彫像に空けられたのではなく作品にリズムを帯びている。



共同制作の魅力

学び合う楽しさ

仲間と協力してつくる共同制作では、一人では思いつかなかった作品のテーマや、表し方の工夫を学び合え、素晴らしい作品につなげることができます。しかし共同制作では、一人一人の考えを一つの作品にまとめ上げる難しさがあることも確かです。そのような困難を乗り越え、仲間と心を通わせ協力して作品をつくり上げた時、代えがたい喜びがあるでしょう。

卒業制作や学校行事、地域との交流活動などの機会を生かして、みんなでテーマを考える共同制作にチャレンジしましょう。



生徒作品
オペスック
【奥池スチロール・針金・紙むち・木ノ高さ96cm】
共同制作

題材に真立でた全体作品を作りあがり、つなぎ合わせる、未来に羽ばたいていて自分たちを表現した。タイトルは卒業を前にして、記念の意味を含めた。



アイデアスケッチをもとに、制作を進めるプランを話し合う。

POINT
全体が調和するよう、アイデアスケッチや話し合いをもとにみんなで見通しを共有しましょう。



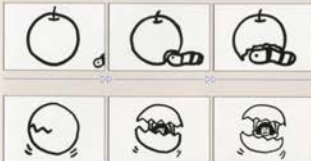
生徒作品 キッズゲルニカ
【アクリル・布/各350×780cm】共同制作
文化祭に合わせて全校生徒で平和の願いを含めた作品制作に取り組んだ。過去の作品も一緒に展示しており、共同制作に込めた思いが受けつづけていることが感じられる。

学びのねらい

- 学校全体や学年、クラスで取り組む学校行事などの機会を生かして、協力してつくつことを楽しむ。
- 作品のテーマや制作の仕方について友だちと意見を出し合い、共同で作品の構想を練る。
- 友だちと役割を分担して、見通しを持って制作しよう。
- 協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合おう。

みんなでアニメーションをつなげる

動きを連続させて描いた絵を撮影して、画像編集ソフトなどを使ってつなげれば、アニメーションをつくることができます。それぞれのアイデアと工夫を持ち寄った一つの作品にしましょう。



いのちをふさごアニメーション

【写真・コンピュータ/約50分】共同制作
一つの形がさまざまなに変化するアニメーションを共同制作した。ある生徒はカメラに近づいたり生かされる場面を描き、そこに別の生徒が描いた、丸いひびが入って人が登場する場面をつなげた。



生徒作品

みんなの心のかたち

【発泡スチロール・アクリル・布・205×92×92cm】共同制作
自分たちのクラスのイメージを立体作品に集めた。話し合いでテーマを決め、グループごとにテーマに合わせた表現を凝らして、最終的に一つまとめた。みんなのアイデアと表現の工夫が詰まっている。



たくさんのお色を色かきで塗って、さらに絵の具をたらして色鮮やかに仕上げた。

スポンジローラーを使って、絵の表現を工夫した。



生徒作品 永遠【アクリル・キャンパス/350×1560cm】共同制作 命の尊さが永遠に続き、それを人が壊してはならない、というメッセージを含めた。



妙法院蓮華王院(三十三間堂：国宝) 本堂(18.2×16.4m) 1164

【京都府】
本尊の千手観音坐像と千体千手観音像などを安置する。火災にあったため、平安時代の仏像と、鎌倉時代の仏像が混じる。千体千手観音像の前部には、鬼神・雷神像と仁王像など二十八部衆像が配置されている。
三十三間堂は、長いお堂と仏像の配置に特徴があり、階段状の壇上に整然と並び千体千手観音像の姿は圧巻である。
おびただしい数の仏像が置かれた建築物内部の空間感を想像し、彫刻作品と場所との関係について考えよう。

刻まれた祈り

仏像の種類と様式

仏像は人の思いや願いを託してつくられた彫刻です。願に応じてさまざまな姿で表され、また、時代によって表現の特徴が異なります。それぞれの仏像の種類とのかかわりも考え、細部の表現と全体から受けるイメージの鑑賞を行き来し、込められた思いについて考えたことを話し合しましょう。

弥勒菩薩半跏思惟像(国宝)

[法隆寺・赤松/高さ123.3cm]

7世紀前半

広陵寺属[京都府]

深く思考する菩薩の姿を表現している。

神秘的な微笑、右手指先の表情の豊かさに、彫刻作品として奥深い魅力が感じられる。



薬師如来立像(国宝)

[彩色・ヒノキ・カヤ/

166×62.3×33.2cm]

8世紀末 元興寺属[奈良県]

奈良国立博物館蔵

両手を挙ぐと誓われる仏で左手には薬師杖を持っている。厚みのある体のあ、あかぬい自然な立ち姿、引き締まった表情などが、観衆を魅し出している。

撮影・森村敦司



不動明王像(国宝)

[彩色・木/173×

142.6×115.2cm]839

箱王護国寺属[京都府]

悪を制する怒りの表情、牙を突き立てる火炎の表現が特徴的である。

【特記】

動きの表現についてはP3上P14~15「期間の美しさを形に」も見てみよう。仏像の種類についてはP55「仏像の種類」も見てみよう。



手びのわらい

○ 仏像にもさまざまな種類があり、時代や作者によって特徴が異なることに関心を持とう。

☑ それぞれの仏像から感じ取ったよさや美しさについて話し合い、理解を深めよう。

聞くことを手がかりに

ここで取り上げる2体の仏像は、ともに笛を奏でています。それぞれどのような音を出しているでしょうか。表情や笛を持つ手などの細部に注目し、想像しましょう。また、表現の特徴と仏像が果たす役割とのかかわりについて考えましょう。

POINT

それぞれの仏像の表情や動きの違いに注目しましょう。



雲中供養菩薩像 陶八号(国宝)

[彩色・漆箔、一部鍍金・木/57×55.8×16.4cm]

11世紀中ごろ 平等院鳳凰堂属[京都府]

仏 定例[生年不詳~1057]

梵胎[生年不詳~1077]

長瀬[1010~9]

雲に導かれて軽やかに空中を舞い、音楽を奏でて仏や菩薩を礼拝する姿である。立て脚で少し前かがみの姿勢は、静かな中にも動きを感じさせる表現である。

善徳佛王立像(国宝)

[彩色・鍍金・木/164×96×51.2cm]13世紀前半

妙法蓮華寺王立像[三十三箇所]属[京都府]

仏 蓮華[生年不詳~1223]

善を与えるものを食ひ尽くすと責められる巨鳥で、守護神とされる。あごを引いて善を奏で、つま先を持ち上げた右足の表現などが、緊張感と臨場感を感じさせる。



「ゲルニカ」は語る

時代や社会と美術

その時代や社会のできごとが、作家の制作のきっかけとなることがあります。ピカソは祖国スペインの古都ゲルニカが、無差別爆撃を受けたことに怒りを感じ、2か月に満たない短い期間で一気に「ゲルニカ」を描き上げました。

ピカソの制作過程からは、形や色、材料をもとに、感じていることや考えていることをどのように組み立て、見る者の心にどのように迫るかを模索する深い試行錯誤を見て取ることができます。さまざまな事象や情景、想像の世界から何かを感じ取り、考え、表す過程での試行錯誤は、私たちの疑問や葛藤を感動へと変えていく大切な力になります。美術を通して身につけるこうした力をさまざまな場面で、生かしていきましょう。



破壊されたゲルニカの街

学びのねらい

- 美術作品から時代背景や作者の心情などを読み解くことについて関心を持つとう。
- 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識を持って味わおう。

死んだ子と母

【紙筆・クレヨン・ワックス・毛筆・紙/23.5×29.2cm】1937



「ゲルニカ」のための製作

【紙筆・紙/24.1×45.4cm】1937



ゲルニカの下絵



「ゲルニカ」を制作中のピカソ

ピカソは、ゲルニカの惨劇をそのまま表現するのではなく、死んだ子どもを抱く母親や暴徒の死など多面的に表した。全体の組み立てや細部を何度も修正することで劇的な場面をつくり上げていった。

ゲルニカ【油彩・キャンバス/349.3×776.6cm】1937 国立ソフィア王妃芸術センター蔵【スペイン】 パブロ・ピカソ【スペイン・1881～1973】



「ゲルニカ」を見る少年

「ゲルニカ」のスケール感を少年の大きさと比べてみよう。
撮影・エリオット・アーフット
【フランス・アメリカ・1928～】

POINT

「ゲルニカ」の画面構成や色づかいから、この作品が今も語り続けていることを感じ取り、話し合おう。

特訓

時代や社会と美術の表現についてはP.16～17「問題意識を形に」も見てみよう。

魅力が伝わる パッケージ

形体や装飾を工夫しよう

学びのねらい

- 生活を彩るパッケージデザインの働きに関心を持つ。
- 多くの人に製品の魅力が伝わるように、パッケージの形体や装飾の働きを練る。
- 制作の順序などを総合的に考え、見通しを持って表現しよう。
- さまざまな視点を生かして作品の造形的な美しさを味わい、美術の働きを理解しよう。



糸雨

【紙・糸・トレーシングペーパー / 高さ22cm】2013
美濃加茂市
【アメリカ・1992〜】
パッケージデザインコンクール受賞作品
船のパッケージデザイン。
単色のパッケージは四季の空模様
に合わせた色で表した。
雨のしずくをかたどった船の
小旗にあをつけ、くじ引きの
ように楽しめる。また、中身の
重みでふたが閉まる構造に
なっており、糸が結まないよう
工夫した。



船のパッケージ

【紙・ドモ・セロハン / 20×9×50cm】2012
美濃加茂市【東京都・1976〜】

【制作の意図】 船の小さくてかわいらしい、ころころとしたイメージを船の形とカラフルな色で表現し、パッケージにしました。また、そのままでもプレゼントできるよう、小さな紙袋に持ち手をつけました。



生徒作品

船のパッケージデザイン

【彩色、プラスチック・紙 / 各高さ5.5×横12cm】

地元の船のイメージ向上を目的にオリジナルパッケージを考え、デザインした。

生徒作品

鳳梨

【彩色・加工粘土・ニス / 15.5×30×15cm】

【制作の意図】 普通のパイナップルより「甘い」というのがテーマです。鳳梨という前は中国から来ています。



地元商店街の包装紙をつくろう

デザインを通して私たちがかわれることは身近なところにあります。中学生がデザインした包装紙が実際に地元の商店で使われた例もあります。地元商店街の商品の特色や魅力を伝える包装紙のデザインを考えましょう。



地元の菓子店で採用された包装紙



生徒作品 地元商店街で採用された包装紙【各42×59×4cm】



1 店や商品の特徴をつかむ

包装紙の持つ役割や楽しさについて理解し、使ってもらいたい店や商品の特徴をつかむ。



3 企画を決定する

グループでデザインを説明し合い、船の具やコンピュータで表現する。



2 企画書をつくる

店や商品の特徴を理解し、形・色・模様アイデアをまとめ、文案を考える。



4 プレゼンテーションをする

包装紙や包装する商品の紹介の方法を工夫し、発表する。その後、みんなでグッドデザインを選ぶ。

ポイント

プロデュースする製品の特徴をつかみ、魅力が伝わるような言葉や装飾を考えましょう。



生徒作品

こんなペットボトルがあったら

【彩色・加工粘土・ペットボトル / 15.5×11×10.5cm】
リボンで輪っか4つ以内をスリカを、紙製の蓋に模立でミニエニークなパッケージデザイン。

生徒作品

女直には秋の彩りもみじ

【彩色・和紙・紙・ラミネール / 19×21×6.8cm】



生徒作品

出し醤油の美

【彩色・紙・ドモ / 11.3×5.8×8.5cm】
気仙沼の夜明けを思い、現地の水産加工物、海苔のイメージを思い浮かべたパッケージに入れて販売した。



光と影の空間演出

陰影や照明の効果を生かして表そう

学びのねらい

- 光と影を演出することによって、作品や空間の雰囲気が変わることに興味を持つ。
- 作品や空間の意味を考え、どのように演出すれば効果的なか、構想を練る。
- 材料や用具の選択、使い方を工夫し、意図に合った演出にしよう。
- 作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品のよさを味わおう。

光と影は、季節や天気や時間などによって変化しながらいろいろな表情を見せてくれます。また、それを人工的に作り出すこともできます。光をデザインすることは、同時に影をデザインすることを意味します。光や影の効果で、私たちの生活の中にも楽しく美しい世界が広がっていることを考え、見る人に感動や癒しを与える演出を工夫しましょう。



生徒作品

【メッシュスチール・糸・身辺材料/60×48×31cm】共同制作



生徒作品

【針・リボン・身辺材料/55×26×26cm】共同制作

透過光で彩る光と影の世界

光を透過したり、透ったりする材料の特徴を生かして、光と影による空間を演出してみましょう。LEDライトやプロジェクターなど光源となる道具の工夫によって、さまざまな効果が楽しめます。



生徒作品
光と影の協奏

LEDライトを作品の下から透過させて、天井に当てて光を演出し、身辺材料などさまざまな形をつくる。赤→緑→青に変わるLEDライトによって、光と影の表情が刻々と変化し、日常的に使用している空間が夢の世界のようになる。

生徒作品
幻想的な町

【針金・カラーセロハン
・発光ステイロール/
13×49×7.5cm】
プロジェクターの光で
作品を映し出している。



照明で空間を演出しよう

人間に欠かすことのできない火から生まれた灯りは、油やろうそくの灯り、電球やLEDなどの明かりへと進化してきました。光は明るく灯す以外に、さまざまな機能や効果が考えられます。その場や空間にふさわしい光の効果を演出しましょう。



生徒作品 アイデアスケッチ
【色紙・ペン・紙/25.7×36.4cm】



生徒作品

竹のランタン

【竹・和紙・花紙/高さ最大40cm】
竹の枝を曲げて針金でつなぎ、形をつくっている。



POINT

照明器具は、照らす場所の空間の雰囲気などを考慮してつくりましょう。

生徒作品

木もれ日の色

【和紙・木・まつぼっくり/
88×40×40cm】

作者の意図 学校途中にある大木のすき間から落ちる温かい光を、鮮やかな色彩の和紙を使って表現しました。



LEDを使用した光のイルミネーション
2013
東京ミッドタウン【東京駅】
複合施設内の広場を、巨大な宇宙の広がりをイメージして演出した。

自分たちの生活の場を飾ろう

空間のイメージを変える演出

学びのねらい

- 空間を演出することの意味や方法に関心を持ち、
- 学校生活が楽しくなる空間演出について、目的や場所、方法などの構想を練る。
- 学校の行事など表現する目的に合った材料や用具を選択し、工夫を表そう。
- 飾られた空間の美しさを感じ取り、生活を彩る演出の魅力を理解しよう。

生徒作品 水飲み場の壁面の装飾

【アクリル・ワックス/160×386cm】共同制作
校内の水飲み場に雪や自然物を描くことで、明るく開放的な空間に演出している。



さげもん(ひな飾りのつるし飾り)【塩田由】



生徒作品 さげもん

【和紙・綿・ヒモ/径8cm、一連の長さ130~200cm】共同制作
学校のテーマ「百花繚乱」に合わせ、さげもんを花に見立てメイン会場の体育館を演出した。



漢字の技法を使い、型と玉に和紙を貼ってつく。

生徒作品 さげもん

【厚紙・糸/53×49×40cm】2007
おおかぼともこ(神奈川県・1970~)
共同制作
絵師・由成少嬢
セメトリーは、フィンランドのを装飾の装飾品として12世紀ころからつくられてきた。幾何学形を基本構造とする。



私たちは、生活する場を心地よい空間にするため、さまざまな演出をしています。住空間の壁面を絵で飾る、天井から装飾品をつり下げなどはその例です。

学校の空間を楽しく演出するためには、どのような方法があるでしょうか。行事などの目的に合わせて、形や色の効果などを考え、その空間にふさわしい装飾を考えましょう。

POINT

演出する空間の意味と目的を話し合い、テーマを決めましょう。



生徒作品 アイデアスケッチ【鉛筆・紙/20×41.8cm】共同制作
水飲み場を心地よい空間にするために、壁面全体の構想を考える。



生徒作品 アイデアスケッチ【色鉛筆・ペン・紙/20×41.8cm】共同制作
壁面に描くものを決め、仕上りの予想図を定める。



草花や木など面積の広い部分を着色してから、動物などの細かい部分を選びつけていく。



病院の待合室(埼玉県)

待合室に居る人たちの心を落ち着かせるよう、壁に動物や草木が描かれ、優しい空間づくりがなされている。



病院の外観と小児病棟(香川県)

外壁にはカラフルな絵が描かれ、来訪者の気持ちを引きこめるような演出がなされている。フロアごとにテーマカラーが設定され、調和しやすくなっている。内装は、ガラスの成長過程も書き分けられている。病棟の若狭が和むような装飾がなされている。



生活を彩る染めの味わい

美しい色と模様の使えるものをつくらう

学びのぬらい

- ① 染色によってつくり出される色や模様的美しさに関心を持つ。
- ② 表現したいものの用途や機能と、色彩や模様との調和を考えた構想を練る。
- ③ デザインの意図に合った材料や技法を選択し、制作順序などを考えながら、表現を工夫しよう。
- ④ それぞれの作品のよさや美しさ、作者の工夫などを感じ取る。

人は古くから植物を染料として用いてきました。染色に用いることができる植物は多種類あり、道端の草や校庭の木の花からも、味わい深い美しい色が得られます。このような染料を天然染料と言います。

また、化学合成によって色を得る合成染料もあり、天然

染料に比べて扱いやすく、大量に染めることができます。

それぞれの染料の特徴や染色の技法について知り、生活の中でどのような人がどのような場面で使われるのか、また、多くの人にとっての使いやすさを考えて、色や模様の美しいものをつくりましょう。



絹のショール 吉岡幸雄【京都府・1946〜】



二重絹ストール【絹/長さ200cm】吉岡幸雄



草木染絹糸 志村ふくみ【滋賀県・1924〜】

天然染料で染めた吉岡幸雄のショールやストールは、味わい深い豊かな色みが感じられる。透き通るような薄い生地で優しい色合いのため、年輪にかかわらず、多くの人が着るのに合わせた装いができる。

生地と材料となる糸を染めた志村ふくみの「草木染絹糸」は、色みが微妙に異なるグラデーションが美しい。生地に使う色の選択幅が無限に広がるようだ。

POINT

染料の持つ独特な色合いを生かし、模様の形や色、配置の構想を練りましょう。

自然の色で染めよう

身の回りにある木の葉や草などからは、どのような色が得られるのでしょうか。校庭の木などの葉や草を集め染料をつくり、染めましょう。

生徒作品 ハンカチ

【匠花・布/42×40.5cm】

制作の流程

① 身の回りにある木の葉や草などからは、どのような色が得られるのでしょうか。校庭の木などの葉や草を集め染料をつくり、染めましょう。

制作の流れ



1 染料の材料となる植物を集める。

2 葉は手でちぎったり、ジュースを絞ったりして、細かくする。

3 自然のどこに、どのような模様をつけたいか考え、単純な形でも大きさや数を定めます。ビー玉などを入れて輪ゴムで絞ってつくる。

4 金網をもった風呂盆に布を入れ、色を定養、黄色させる媒染を行う。

5 天日で乾燥させる。完成後は材料の植物の色と比べてみて、自然の色の豊かさを感じ取る。

【匠花・布/35×40cm】

絵の具で染めてみよう

色の数が豊富な布地用絵の具で、布を染めましょう。布地に筆で絵付けができるなど、天然染料よりも簡単にさまざまな表現を試すことができます。身につける人や場面を考えて、美しい配色や模様を工夫しましょう。

生徒作品 ストール
【染料・布/長さ170cm】

制作の流れ



1 布地用の絵の具や画数刷などを混ぜ合わせる。

2 筆でつけた絵の具で、布に筆で絵付けをする。配色を考えて、模様を工夫しよう。

3 ステンパースタンドなどで縦横模様をつくる。

4 日が当たり、風の通る場所で乾燥させる。染めた色が、あせてしまわないように注意しよう。

暮らしを心地よく するインテリア

使う人や場所の雰囲気を考えてつくり

年々のお祝い

- 使う人や場所のことを考えた美しいデザインに関心を持とう。
- 心地よい美しさと生活を楽しくするデザインの理想を練ろう。
- 材料や道具の生かし方を考え、創意工夫して表そう。
- 作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品のよさを味わおう。

日々の生活を楽しくするために、身近な空間にお気に入りの雑貨や家具などのインテリアを使うと、豊かな気持ちになれます。

使う人の気持ちや使う場所のことを考え、材料の特性を生かしながら、生活や空間を楽しく彩るインテリアや小物をデザインし、実際に使ってみましょう。



ペンギンの壁掛け時計

【木・24.5×27×2cm】
五味太郎(東京都・1945～)
絵本の中から抜け出してきたような動物の時計は、数字が滑らかで美しいデザイン。



ツリー・ブックシェルフ

【塗装・スチール/210×150×20cm】
ショーン・ソウ(フロリダ・1979～)

木の影をしたこの本棚は、木の影を写したことを発想の源からデザインされている。

キース・ヘリングチェア

【木・72×48×23cm】1987

キース・ヘリング

【アメリカ・1905～90】

大衆の両手を動かした部分で、やや高い背もたれになっている子ども用のおいす。



愛着が持てるインテリア小物をつくり

自分の好きなインテリアや小物をつくり飾ってみると、空間に変化が生まれ、愛着がわいてきます。さらに、遊ぶことが目的の小物でも使わない時に部屋に飾れば、また違った楽しさを味わえます。室内空間を豊かにするためのインテリア小物をつくりましょう。

生徒作品

犬・猫・キジ
【彩色・木・発泡材料/
26.5×21.5×15.5cm】

【作者の意図】 材料の木をどのように使うか木を積み上げてみると、3段の積み上げがバランスよく、3体の動物を思い浮かべました。力加な手を添げないように、猫の手を伸ばしました。



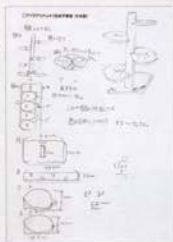
生徒作品

葉の飾り棚
【彩色・木・発泡ニス/
48×20×12cm】



生徒作品

アイデアスキャッチ
【黒板・紙/29.7×21cm】



POINT

自らつくったインテリアや小物を飾り、普段見慣れた空間の雰囲気を変えてみましょう。



生徒作品

Summer time memories
【彩色・加工粘土・紙・コルク・
ビーズ/30×27×15cm】



TSUMIKI DOLL【カラージュ・合板シナベニヤ/高さ最大23cm】
tupera tupera【山田達夫(三重県・1976～)、中川敏子(京都府・1978～)】
黒板・鏡面黒板

【作者の意図】 工場の床には、木の切れ端がたくさん転がっていた。どの形も面白い。その中の二つを選んで転がらせた。すると、ただの木片が何とも愉快なキャラクターに見えてきたのだ。

自然を愛でる空間

自然とのつながりから生まれた造形

伝統的な日本建築の中には、住居機能だけではなく、そこで過ごす人の心を豊かにする美しさも備えるように設計されたものがあります。江戸時代に建築された桂離宮は、散策しながら景色を楽しめる庭や建物の配置、四季を感じさせる装飾など、自然の美を愛するための工夫が凝らされています。

表情豊かな自然に恵まれた日本で大切にされてきた、自然とのかかわりを生かした空間について考えましょう。



昼の月遊楼の内部

学びのねらい

- 自然のさまざまな美しさを空間の中に取り入れ、楽しもうとする姿勢について関心を持たう。
- ◇自然現象と建築のかかわりを想像したり、自然物を形や材料に取り入れる工夫を考えたりして、自然を生かした建築のよさを味わおう。

そこに自分を置いて味わおう

この空間に身を置いた自分を想像してみましょう。見えるもの、聞こえるもの、薫るもの…。開け放した戸から差し込む光、吹き抜ける風、広がる景色。秋だったら、雨だったら、夜だったら。ここで私たちはどんな感動を味わえるか、感覚を研ぎ澄まして想像してみましょう。

活動 環境と造形のかかわりについてはP.44～45「デザインと環境」も見てみよう。



古書院外観(午前建物)



夜の月遊楼



古書院の内部から月見台を望む。月見台は池に置いた。屋根がないので開放感がある。上の月と水鏡に映る月の両方を楽しめることができる。



桂離宮 全体図 京都府【敷地面積6941㎡】
桂離宮の面は、建物をつなぐ回廊を歩きながらさまざまな景色を楽しむ。回廊式回廊である。また、建物は月見を楽しめるよう配置されている。まず東側が池に面している月遊楼で月を眺め、月が中天に昇ったら古書院の月見台へ向かうというように、建物を移動しながら月を眺められる。

- ①古書院
- ②中書院
- ③東側の回廊
- ④新書院
- ⑤月遊楼
- ⑥御膳所
- ⑦松亭亭
- ⑧松林堂
- ⑨草花亭
- ⑩冥鳥軒

自然の形から発想した設え

桂離宮には自然の材料を生かしたり、草花などをあしらったりした装飾が多く見られ、見る人が自然のさまざまな形の面白さを味わえるようになっています。自然の形から発想した装飾の工夫を鑑賞しましょう。



東門(南は内)
竹を数まつて扉の面にしている。竹の曲線的な並びがすっきりとした印象を与えている。

新書院の板戸の引き手の形は、四季の植物から発想されている。左上：藤と木の引き手(藤)。右上：英語とすずきの引き手(蓮)。右下：葉の引き手(桜)。右下：椿と水仙と梅の引き手(杏)。

笹垣の表側(下)と裏側(上)
笹竹をしならせて高く、葉を垣に届めることで、裏からは見えない高さだけで垣をつくっているように見える。



穂

穂を切り落とした太い竹を柱にして、その間に竹の小枝をはさんで垣根としていく。力強い穂の線と繊細な穂の線を対比する構成になっている。

自然を愛護する心を持つと。

デザインと環境

社会や自然とかかわるデザインの役割

- 学びのねらい
- 環境や自然が抱える問題を解決するためのデザインの役割や働きについて関心を持つ。
 - 環境や自然が抱える問題に対して、何をどのようにデザインすることができるのか、構想を練る。
 - 考えたことを、材料や用具を工夫して形に表す。
 - 環境や自然に配慮したデザインを鑑賞し、考え方を理解しよう。



デザインは、人々、人との、人と社会、人と自然など、私たち人間とさまざまなものを結びつけながら、より豊かな生活や環境の実現に向けて役割を果たしてきました。

しかし、私たちを取り巻く環境に目を向けると、解決しなければならない問題が数多く存在します。これからのデザインに求められる役割や働きについて考え、自然や環境の改善に役立つデザインを提案していきましょう。



植物を植える前の建物
パトリック・プランが手がけるのは、建築物などの骨組みを利用して植物をデザインするもので、垂直森林と呼ばれている。垂直森林は、実家自身が異なるさまざまな国や地域で用いられ、建物と環境との共生を自覚したデザインの提案と見える。

アプキールのオアシス
[高さ25m]2013[フランス]
パトリック・プラン
[フランス・1953～]

環境へのやさしさを考えよう

地球温暖化など、環境が抱える問題に対して、私たちが提案できることはどのようなことでしょうか。身近な例で考え、模型などで提案しましょう。



生徒作品
環境にやさしい家
[縦/横/高]129×113×13cm

生徒作品
プレゼンテーションボード
[横/高]26.4×25.7cm
制作のねらい 採光のために窓を備えた曲面の屋根やグリーンカーテンを設置する工夫として、夏でも涼しく過ごせる家にした。



自然と共生するデザイン

自然を生かしたデザインとは、どのようなものなのでしょうか。自然を守って残していくだけでなく、自然を生かしながら人も豊かになれるようなデザインについて考えましょう。



生徒作品 アイデアスケッチ [色画紙・縦/25.7×36.4cm]



周りの自然と真に暮らすことが実現できるように、2階を全面窓にしている。

情報 自然との共生の鑑賞についてはP42～43「自然を愛でる空間」も見てみよう。

横浜港大さん横国際客船ターミナル[全長430m]2002 神奈川県アレハンドロ・ザエラ・ホロ[スペイン・1963～]、ファッド・ムサヴィイ[イラン・1905～] 横浜港大さん横国際客船ターミナルは、港と船との統合を考え、景観に配慮し高さを変えて設計された外観が特徴である。空に溶けた部分が大きく広がった開放的な空間として設計され、ターミナル内部には階段がなく、パブリックスペースを採用しているなど「誰のようなく、訪れる人に優しい」デザインになっている。



上: 屋上には、天然芝の緑地が設けられている。
右: 多くの部分に木材を使用し、スロープとエレベーターにより上下階に移動できるようにしている。



生徒作品
建築模型
[ステンレボード・アクリル板・紙・紙・アクリル]
28×35.5×25.7cm

制作のねらい 自然の中に溶け込むような家をデザインしました。室内に自然の木を取り入れ、屋根にも植物を植えるなど自然との共生をテーマにしています。

POINT
人と自然との調和や共生の視点から、自然の持つやさしい特徴を生かす構想を練りましょう。



デザインで変える 現在と未来

地域と未来と人々の夢

学びのねらい

- 地域の問題を解決したり、未来を志向したりするためのデザインの活動について関心を持つ。
- ◇ 地域の状況や社会的な背景などを考え、作者の考えと表現の工夫を読み取り、作品のよさを味わおう。



リオデジャネイロ(ブラジル)で行われたアートプロジェクト
ドレ・ユパーム(オランダ)・ロドリゴ・コルネーリス(オランダ・1977~)
2005年にこの地を訪れたオランダ人2名のアーティストの計画で、当地に問題を抱える地区の住居を、その地で暮らす人々の手でカラフルに彩ることにより、地区に明るいイメージをもたらした。

POINT

今日や将来においてデザインの果たす役割について考えましょう。

人は、自分たちの生活をより快適に、より便利にするために方法を考え、ものや道具をつくり出すデザインの活動を行ってきました。生活の環境が多様化している現代の社会では、地域の課題を解決するためのデザインや、高度な技術を支えられ、より心豊かな生活や未来を志向するデザ

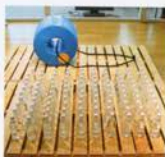
インも提案されています。

世界で展開されているデザイン活動に関心を持ち、課題の解決や心豊かな生活のために自分たちが提案できることについて、考えを話し合みましょう。

特別 環境と造形とのかわりについてはP44~45
「デザインと環境」も見てみよう。



ポリタンクで水をくみに行く子ども



Qドラムに入る水の量



Qドラム

【ポリエチレン/径43cmx
厚さ47.5cm】1993
ピーター・ヘンドリックス
【南アフリカ・1944~2013】
ハニス・ヘンドリックス
【南アフリカ・1942~】

かまどスツール(木・木材/高さ44.5x径48cm)
形体と使用方を工夫することで、異なる目的の場所として使用するベンチが、異なるにはかまどとして使用できる。



未来志向のデザイン

小型ロボット
【34×16×12cm】
高橋智博
【大阪府・1975~】

スマートで愛らしくデザインされた小型ロボット。250のフレーズを収録し、会話を楽しむことができるほか、歌やダンスを演じることができる。



英ラウルマ(48×49×115.5cm)

国内自動車メーカー

日本デザインセンター-兼デザイン研究所
最先端の機械を用いた製品を提案する展覧会に出展されたもの。伸縮性が高く強い繊維で前面がつけられ、クワクションを駆動する機構が伸びて笑顔になり、運転する人どうしの交流を生み出すという意図である。

コナナ多摩
仮設住宅プロジェクト
【海上輸送用コンテナ】
2011【芸術家展】
編 渡【東京都・1957~】
撮影【友・平井広行】

東日本大震災の被災地に建設された仮設住宅。海上輸送用コンテナを組み上げ、近景や断熱性に優れた住居も、短期間で建設された。常態化にむけた建築家の関わり、専門にデザインされた家具など、居住性に優れる。





日本の 世界文化遺産

世界文化遺産とは、世界遺産条約に基づいて選ばれた貴重な遺跡や文化財のことです。文化遺産は人類の共通財産であるという認識に立ち、世界の各国が協力し合って、損傷や破壊などから保護し、次の世代へ受けついでいく必要があります。世界遺産条約とは、1972年のバリのユネスコ総会で採択された条約です。世界遺産には、文化遺産のほかに自然遺産、複合遺産があります。

受けつぎつくる 人の姿

伝統的な材料や技法を受けつぎながら、その特徴を生かして創作する伝統工芸の世界があります。そこには、確かな技術を守り伝える人々があります。長い伝統にはぐまれ、受けつがれてきたものにつくる人の創意工夫が加わり、新しい工芸品が生まれてくるのです。私たちの暮らしを豊かに彩る伝統的工芸品と、それをつくる人々の姿から伝わるものを感じ取りましょう。



①早稲一仏土を築く建築・庭園及び考古学的遺跡群 中華寺舎色覚(国定) 1124建立【前半】 ②日光の社寺 日光東照宮東御門(国定) 1617創建【栃木県】 ③醍醐製茶場(国定)1872建造と前楽楽園遺跡群【群馬県】 ④富士山一塔の対峙と芸術の源泉【山梨県、静岡県】 ⑤白川郷・五箇山の合掌造り集落(国定、高山) 江戸時代 白川郷(国定) ⑥京都府の文化財【京都府、滋賀県】 ⑦龍安寺の方丈庭園 室町時代(京都府) ⑧法隆寺地域の仏教建造物 法隆寺五重塔(国定) ⑨興福寺【奈良県】 ⑩志賀郡東部の文化財 兼光寺大仏殿(国定) 奈良時代(奈良県) ⑪室町寺山の遺構と歩道園【三重県、奈良県、和歌山県】 ⑫神倉川(和歌山県) ⑬成城(国定) 1346築城【兵庫県】 ⑭藤原トモ 1915【広島県】 ⑮豊後神社 平安時代末期【広島県】 ⑯石見国湯津跡とその文化的景観 鎌倉寺(国定) 江戸時代中期(島根県) ⑰琉球王宮のクスノキ及び関連遺産群 琉球城跡 1429～1879年琉球王国【沖縄県】

①土器(北九州) ②埴子(近畿) ③白磁(関東) ④青磁(関東) ⑤京焼(関東) ⑥瀬戸焼(愛知) ⑦越前焼(福井) ⑧萩焼(山口) ⑨瀬戸焼(愛知) ⑩瀬戸焼(愛知) ⑪瀬戸焼(愛知) ⑫瀬戸焼(愛知) ⑬瀬戸焼(愛知) ⑭瀬戸焼(愛知) ⑮瀬戸焼(愛知) ⑯瀬戸焼(愛知) ⑰瀬戸焼(愛知) ⑱瀬戸焼(愛知) ⑲瀬戸焼(愛知) ⑳瀬戸焼(愛知) ㉑瀬戸焼(愛知) ㉒瀬戸焼(愛知) ㉓瀬戸焼(愛知) ㉔瀬戸焼(愛知) ㉕瀬戸焼(愛知) ㉖瀬戸焼(愛知) ㉗瀬戸焼(愛知) ㉘瀬戸焼(愛知) ㉙瀬戸焼(愛知) ㉚瀬戸焼(愛知) ㉛瀬戸焼(愛知) ㉜瀬戸焼(愛知) ㉝瀬戸焼(愛知) ㉞瀬戸焼(愛知) ㉟瀬戸焼(愛知) ㊱瀬戸焼(愛知) ㊲瀬戸焼(愛知) ㊳瀬戸焼(愛知) ㊴瀬戸焼(愛知) ㊵瀬戸焼(愛知) ㊶瀬戸焼(愛知) ㊷瀬戸焼(愛知) ㊸瀬戸焼(愛知) ㊹瀬戸焼(愛知) ㊺瀬戸焼(愛知) ㊻瀬戸焼(愛知) ㊼瀬戸焼(愛知) ㊽瀬戸焼(愛知) ㊾瀬戸焼(愛知) ㊿瀬戸焼(愛知)



文化財の保存と修復「東大寺南大門の金剛力士立像の修復」

運慶や快慶らによって鎌倉時代につくられた東大寺南大門の金剛力士立像は、多くの材木を組み合わせた善木造りでできています。長い間に木の含水率がゆるんだり、材材が腐んだりしてきたため、1968年から5年がかりで解体修理が行われました。



金剛力士像の修復作業は、細心の注意を払って行われています。木は含水率を一定に保ち、腐食を防ぐことが重要です。また、元の色合いや質感を再現することも重要なポイントです。



アートを体験する場に出かけよう

アートイベントやアートプロジェクト、そして美術館。私たちの身近なところにはアートを体験できる機会や場所がたくさんあります。地域やまちの中で行われるアートイベントは人々に活力を与え、まちを活性化したり社会に影響を与えたりするなど大きな効果をもたらします。また、美術館ではゆったりとした空間で美術作品を鑑賞したり、ワークショップに参加したりすることもできます。さまざまなアートを体験しに出かけましょう。



国境を越えて・海(素材・鉄・糸・漆木/高さ8.7m)2013 リン・シュロン(台湾・1958~)
瀬戸内国際芸術祭(香川県) 台湾から運ばれた木の實をモチーフにした8.7mの作品。



リパース・シディー(ホ・金属/高さ約5m)2009
パスカル・マルティン・タイユー(カメルーン・1967~)
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(新潟県)
藤原 実次真 渡野広美
太い柱につるされた大きな彫刻には、世界各国の名前が書かれている。

ビエンナーレは2年、トリエンナーレは3年に1度開催するという意味でアートイベントの名称にも使われています。このようなアートイベントには世界中から鑑賞者が集まり、地域やまちが元気にったり交流が生まれたりするなど人々の心を豊かにし、活力をもたらしてくれています。

女子の2011
石野菊樹



サン・チャイルド No.27 RP・発泡スチロール・アクリル・ライト/高さ6.2m)2011
ヤベケンジ(大分県・1965~) 愛いちトリエンナーレ(愛知県)
東日本大震災後に希望のモニュメントとして制作された。

◆共同で作品を展示しよう

地域の小・中学生の作品を集めた展示も盛んに行われています。学校の中や地域の中で自分たちの作品を展示するアートイベントを企画して、地域の人と交流しましょう。



とよた子ども造形フェスティバル(愛知県豊田市)



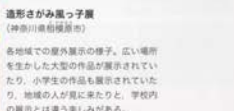
造形おかしきっ子展(愛知県稲垣市)



とよた子ども造形フェスティバル(愛知県豊田市)



子ども造形パラダイス(愛知県南知多町)



とよた子ども造形フェスティバル(愛知県豊田市)



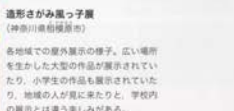
不定期開催中「開村伝承〜始めの第一歩の巻〜」
[取組・シナヒヤノ/長さ90m]2013
大西祥太(京都府・1992~)
神戸ビエンナーレ(兵庫県)
文字が一つ書かれたキューブを200個つなげると文章になり、音読が読める仕組みになっている。展示期間中にキューブが変わり、物語の続きが楽しめる。



太陽のうた 2013
マローロン・グラフィス(トリニダード・トバゴ・1976~)
あいちトリエンナーレ(愛知県)
東日本大震災以降の再生と進歩をテーマに、不死鳥のイメージの音楽をパフォーマンスに用いたパレードの様子。



子ども造形パラダイス(愛知県南知多町)



とよた子ども造形フェスティバル(愛知県豊田市)

◆美術館へ行く

美術館は、世界中のさまざまな美術作品と出会うことができる場所です。歴史的な名画、名作から現代の多様な美術の活動や作品まで、テーマに沿った展覧会がゆったりとした空間で楽しめます。美術館では展覧会が学芸員を中心に企画され、運送や展示などをはじめ多くの人々の協力を得て開催されます。ここでは、美術館で展覧会ができるまでの流れを紹介しています。



国立新美術館 2006竣工 [東京都]
黒川紀章 [愛知県・1934～
2007]ほか



とても慎重に作業するのね



国立新美術館で開催された「カリフォルニアデザイン 1930-1965」の展示作業
①美術品取扱専門業者が梱包に梱包して輸送する。
②担当の学芸員やコンピューターター（修復技術者）が細心の注意を払い、作品の状態をチェックする。
③学芸員や展示を専門に行うスタッフによって作品が展示されている。会場が上がり、多くの来館者を迎える。



写真家の撮影、上島彰雄

展覧会のチラシと図録

より展覧会を楽しむことができるよう、チラシには会期中に開催される講演会やワークショップなどの日程も掲載されている。

ワークショップに参加しよう

美術館やいるいるななどでアート体験するワークショップが行われています。自分で体験することで新しい発見や感動を味わうことができます。みなさんも参加してみてください。

川崎市立美術館(埼玉南)で行われたワークショップ中学生がつくったカードを組み合わせて大きなタワーにした。



◆仙台・神戸子ども絵画交流展

全国各地では、子どもたちが作品を通して交流する取り組みが行われています。下は仙台・神戸子ども絵画交流展の様子です。子どもたちの未来の夢や希望をはくくみ、互いの絆が深まるようにとの願いが込められています。



せんだいメディアテーク(宮城県)での展示



「神戸フットアートフェスティバル」兵庫県立美術館での展示



生徒作品
溢れる未来
[コラージュ・
アクリル・紙/
54.2×39.2cm]
作者の言葉
明るい未来をイメージして描きました。木は成長を、鳥は飛躍を意味します。

仏像の種類

仏像には多くの種類があり、同じ種類の仏でも時代や作者によって特徴が異なります。仏像を見る時には全身像としての美しさを鑑賞するとともに、細部の表現に込められた思いを感じ取るように見ていきましょう。



近代の建築

19世紀末以降、新しい工業化の時代にふさわしい建築が試みられるようになりました。鉄やガラス、鉄筋コンクリートなどを使用し、合理性や機能性を重視した建築が登場しました。

◆グッゲンハイム美術館 1959 [アメリカ] フランク・ロイド・ライト [アメリカ・1867～1959]



建物の外観は白いカタマリを思わせる。

左: 内部はらせん状のスロープが連続。天井の明かり取りが光が入る。
右: 作品はスロープに沿って展示され、観客はエレベータで最上層まで行き、スロープを降りながら鑑賞する。



◆ロンシャンの教会 1955 [フランス] ル・コルビュジエ [スイス・フランス・1887～1965]



建物は小高い丘の上に建っている。

ボリュームと形態を強調した外観は彫刻作品を思わせるユニークなデザインであり、異なる角度によってさまざまな表情を見せる。



内部は明かり取りの部にスタンドグラスがはめられ、彫一期と変化する外光を取り入れている。不揃いな形の高から差し込む光が神秘的空間をつくっている。



画/サイズ可変]2009 中井輔也[東京都・1967~]

ずむ列車を見た時、鳥肌が立ちました。
の春が風にあって飛び、季節がまた動いていきます。



あなたへ ～中学校美術からの巣立ち～

あなたは きょうまで
心の中に湧き上がってきた思いを
形や色に込めて表したり 味わったりする学びの中で
新しいものを生み出す楽しさ
すばらしさを実感してきました

あと数日で終わりを告げる 中学校での学びの時間
でも あなたの“美術”は終わりません

たくさんの思いや気持ち
よいもの 美しいもの
そして 自分の魅力…

今まで学び得たことは あなたの一生の友として
人間らしく 自分らしく生きていくことを
あなたの内側から支えてくれるはずですよ

心のアンテナを大きく大きく広げ
もっと新しく もっと魅力的な世界を
生み出していけるような
すてきな手と目と技を
磨き続けてください

となりの友 世界の友人
それぞれが大切にしている
美術の文化について語り 感動を分かち合い
その存在を心から認め合える人になってください

あなたが これから出会う未来の友人と
力を合わせ ともに幸せを築こうとする
優しく あたたく 美しい心を持った人に
成長することを
心から願っています